加東市商工会報

知っとこかとう

No. 40
令和8年1月1日
発行

発行
加東市商工会
編集
加東市商工会　情報化委員会

主な内容

- 新年のあいさつ/会員視察研修 関西万博 P2
- 令和7年度事業報告 P3
- きらり輝く企業（Laugh work machine） P4
- #スマイルかとう〈洋菓子店特集〉 P5
- 青年部だより/女性部だより P6
- 新会員紹介 P7
- お知らせ/関連情報/編集後記 P8

新年のあいさつ

加東市商工会会長
藤井 信孝

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平素は、加東市商工会の事業運営につきまして、商工会員をはじめ、加東市民の皆さまには、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

今年は、午年。60年に一度の丙午にあたります。将棋の駒で有名な天童市の「左馬」（馬の字が左右反対に書かれている）は、「うま」を逆から読むと「まう＝（舞う）」となり、「福が舞い込む」、また左馬の文字の下部の形が巾着に似ていることから「財を招く」とされ、商売繁盛や金運を願う縁起物として知られています。縁起の良い午年にあやかり、力強く走りぬき、飛躍する年になるよう祈念いたします。

一方、国内においては昨年10月、日本史上初の女性首相誕生のもと「力強い経済の実現」に向けた取り組みに期待するところであります。

さて、昨今のコメや原材料の高騰による物価高、最低賃金の上昇、人材確保難等、中小・小規模事業者にとっては大変厳しい環境が続いております。

そのような状況の中、昨年の大阪万博でのキャッシュレス決済の検証では利用者満足度9割、決済作業時間1／10など効率化を兼ね備えた現金以外の取引が世の中に浸透してきています。こうした社会の流れを素早くキャッチし、ニーズにあった新たなサービスを提供していく必要があります。

加東市商工会は、「キラリ輝く商工会を目指して」のスローガンのもと地域企業の持続的発展と地域経済の活性化に貢献してまいります。

今後とも、より一層のご支援、お引立てを賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご健康とご多幸をお祈りして新年の挨拶とさせていただきます。

話題の宝庫・関西万博視察
～交流と学びにあふれた充実の一日～

加東市商工会では、会員事業者の見聞を広め地域産業の活性化を目的に、2025年10月1日（水）、大阪・関西万博（夢洲会場）への視察研修を実施した。会員および関係者あわせて124名が参加し、バス3台に分乗して出発。秋晴れのもと終日、和やかな雰囲気で視察研修を実施した。

万博の開催が決定したのは2018年。当初は十分な来場者数が見込めるのかといった批判的な声があったが、開幕以降は来場者数が徐々に増加し、9月には連日20万人を超えるにぎわいを見せた。最終的な累計来場者数は、一般来場者のみで約2557万人となり、目標の2820万人にはわずかに届かなかったが、関係者を含む総来場者数は2900万人台に達した。

こうした注目の中で行われた視察研修。当日は最高気温28度と暑さが残る一日で、閉幕を目前に控えた会場は多くの来場者で混雑していた。主要パビリオンでは数時間待ちの行列も見られたが、多くの来場者が折りたたみ椅子を持参し、厳しい暑さの中、トラブルなく穏やかに順番を待つ姿が印象的であった。

関西万博を視察した加東市商工会会長･副会長

研修中は自由見学となったが、午前中は比較的来場者が落ち着いており「コモンズ館」を中心に視察した会員が多かった。A～Fの全6棟からなるこのパビリオンはアフリカや中南米、東ヨーロッパ、離島といった比較的小国が合同で出展しているのが特徴であり、普段なかなか接点のない国々のブースを訪れることで、参加者は「世界の広さ・多様さ」を実感し、出展国の担当スタッフと直接会話できる機会もあり、「世界の人と話す」交流も万博ならではの体験となった。

コロナ禍を経て、人と直接出会い、語り合う時間の尊さが改めて見直される中、万博会場には約160カ国の人々が集い、同じ時間と空間を共有していた。たとえ全てのパビリオンを周れなくても、大屋根リングの下で交わされた笑顔や言葉こそが、世界の祭典を象徴する「交流（つながり）」となった。

近年の加東市商工会会員視察研修の参加人数（グラフ1参照）を見ると、今年度の参加者の増加は、関西万博への関心の高さを象徴している。

加東市商工会では、今回の視察研修で得た学びと交流を今後の地域活動に活かし、来年度以降も多くの会員に関心を持っていただけるよう、魅力ある研修の企画を進めていく方針である。

グラフ1

商工会事業報告

国際フロンティア産業メッセ2025

9月4日（木）～5日（金）に神戸国際展示場で、「国際フロンティア産業メッセ2025」が開催されました。台風が接近する悪天候の中での開催となりましたが、主催者発表によると2日間で約14,700人の来場がありました。当会からも4社が出展され、積極的に自社の商品・サービスを説明されていました。

合同就職面接会in加東市

9月5日（金）に加東市役所において「合同就職面接会 in 加東市」を開催し、加東市内の企業 28 社に参加いただきました。各ブースでは採用担当者と求職者との面談が活発に行われていました。

事業計画作成の基本と実践セミナー

9月26日（金）に加東市商工会館において、「事業計画作成の基本と実践セミナー」を昼の部と夜の部の 2 回開催しました。事業計画の必要性や目標設定、自社分析等の手法の他、シーン別の生成 AI の活用について学びました。参加者からは「事業計画を作るいいきっかけとなり大変勉強になった」等の感想が寄せられました。

BCP・事業継続力強化計画作成セミナー

10月24日（金）に加東市商工会館において、「BCP・事業継続力強化計画作成セミナー」を開催しました。企業活動に重大な影響を及ぼす自然災害等の経営リスクが増加している中、緊急事態に備える知識を学ぶとともに、事後の復旧・対応を考えた計画作成の必要性について理解を深めました。

労働環境対策事業セミナー

11月20日（木）に加東市商工会館において、労働環境対策事業セミナー「求人検索サイト攻略テクニック」を開催しました。年々多様化する採用手法を理解した上で、無料求人サイトの活用方法や求職者に伝わる求人情報などについて学びました。採用活動にすぐ使える具体的な手法の説明が多くあり、参加者は熱心にメモを取りながら受講されていました。

今後の予定

加東市商工会では「創業塾 2026（冬）」を開催します。毎回、創業を希望される方に多く参加いただいております。皆さんと一緒に創業について学び、夢を実現してみませんか?

日　時

1月8日（木）・15日（木）・
22日（木）・29日（木）・
2月12日（木）
19:00～21:30

会　場

加東市商工会館
2階大会議室

きらり輝く企業

Laugh work machine
兵庫県加東市西垂水404-4

◇布が紡ぐ風の記憶、人と町を結ぶ継承の手
―加東の地に息づく職人魂―

「縫う」という行為には、不思議な力がある。

離れた布と布が、一針ごとに結び合い、やがて一つの形を作り上げる。人と人の縁もまた、そんな〝縫い目〟のように繋がっていくのかもしれない。

加東市西垂水に工房を構える「Laugh work machine」（ラフワークミシン）その名のとおり、ミシンでドームテントの製造・販売を手がける職人・北川勝彦（かつひこ）さんがいる。

◇運命を穿つ一針
―異郷で出逢った道具と、宿命―

2011年。乾いた風が吹くネパールの山あい。

旅の途中で立ち寄った小さな縫製所で、北川さんは初めて工業用ミシンに出逢った。

金属の針が布を貫き、離れたものを一つに結んでいく―その瞬間、胸の奥で何かが動いた。

「〝縫う〟という行為に、人が生きる意味を感じたんです。」

帰国後、北川さんは地元・富山でテント制作の工房に弟子入りする。

風の強い現場で設営を重ね、針の角度、糸の張り、布のあらゆるを学びながら、縫製の奥深さを身体で覚えた。

「布の呼吸を感じられるようになったとき、職人としての道が見えてきました。」

◇日本に二人
―伝承される希少な匠の技―

北川さんの工房では、ドームテントのフレームから生地までを一貫して制作している。

国内では同様の技術を持つ職人は北川さんを含め、わずか二人しかいないという。

「市販のドームテントは多くが海外製。けれど自分は、ミリ単位でサイズを変えたり、模様を入れたりと、完全オーダーメイドで作れるんです。」

ドームテントの製造・販売を中心に、トラックの幌、ソファカバー、船舶の内装など、あらゆる縫製を手がける。

「〝布を縫う〟ということの可能性を、もっと広げたいんです。」

◇加東の風を再び縫い紡ぐ日々

2020年、人生の新たな縫い目がつながった。

妻の知人の紹介で訪れた加東市に、北川さんは一瞬で心を奪われる。

「山も風も人も、すべてがやさしい。この地でなら、自分の理想を形にできると思ったんです。」

こうして誕生したのが、「Laugh work machine」。

その最大の強みは、フレームから生地までを一人で仕立て上げる技術力。

「海外製の大量生産品とは違う、魂を込めた一点ものを作りたい。サイズも形も、お客様の想いに合わせて変えていく。それが私の誇りです。」

◇経営革新計画認定へ
―未来を縫い合わせる挑戦の糸―

そんな北川さんの挑戦は、2024年度、兵庫県の「経営革新計画」認定という形で実を結んだ。

「もっと人が喜ぶテントを作りたい。音楽イベントだけでなく、まちづくりや地域の集いの場にも使えるものを―」

そうして構想したのが、直径14メートルのワンポールテントだ。

従来の大型テントは金属の支柱やクレーンを必要とするが、北川さんのテントは〝人力で立てられる〟のが特長。

「大人数で〝よいしょ〟と立てられるんです。重機が入れない場所でも設営できる。みんなで作り上げるテントだから、設営自体がイベントになる。」

まるで人々の力をひとつに集めるようなその構造は、テントという枠を超えて、まちを包み込む器のようでもある。

◇加東が紡ぐ非日常の聖域へ

北川さんが次に目指すのは、加東市の自然や公共空間を生かした新しい使い方だ。

「ゴルフ場や広場、市役所前―どこでも立てられるのが強みです。加東の美しい景色の中に、非日常の空間を作りたい。」

青空の下で広がる色彩感のあるドーム。その中で音楽が響き、人が語り合う。それは、加東の新しい〝風景〟になるかもしれない。

◇縫うことで刻む、未来への継ぎ目

取材の最後、北川さんは記者に工業用ミシンの体験を勧めてくれた。

厚手の布を力強く貫く針の音。まっすぐ縫い進む糸。

「縫うって楽しいですよね。」と笑う北川さんの表情は、少年のように輝いていた。

「Laugh work machine は、テントだけではなく、小物や家具のカバー、オーダー縫製も承っています。ぜひお気軽にご相談ください。」

一針一針、丁寧に。そのミシンの音は、加東のまちに〝創造のリズム〟を刻み続ける。

Laugh work machine（ラフ ワーク ミシン）

代表者	北川 勝彦
従業員数	1名
事業内容	イベントテント製造、販売、レンタル、設営
所在地	加東市西垂水404-4
電話番号	090-5682-8483
営業時間	10:00～18:00

ホームページ

instagram

#スマイルかとう

洋菓子店特集

今回は、ギフトや自分へのご褒美にもぴったり！加東市内の洋菓子店３店舗を特集しました。
見た目もかわいいケーキや焼き菓子を、ぜひご賞味ください。

① patisserie petit cadeau（パティスリー プティカドー）

Instagram

定休日 月曜日～金曜日
営業時間 10:30-17:00

土日のみＯＰＥＮする窓口販売のスイーツショップです。
定番商品に加え、週替わりで様々なケーキが登場します。
もう１個手に取りたくなる優しい味のお菓子をぜひ一度ご賞味ください！

所在地 〒673-1431
兵庫県加東市社603

TEL 0795-20-2476

おすすめ商品：季節のフルーツショートケーキ
価格：450 円（税込）

② 社菓庵 末永/Hitotoki 人と季

Instagram ホームページ

定休日 月火曜日ほか不定休
営業時間 9:00-18:00

人それぞれの大切な時間に寄り添うお菓子を作りたいと、和菓子店舗内にHitotokiをオープンしました！
オススメ商品「季節のフルーツショートケーキ」は、シンプルだからこそシェフの想いやこだわりを楽しんでいただける一品です。

所在地 〒673-1431
兵庫県加東市社1050-1

TEL 0795-42-1800

おすすめ商品：季節のフルーツショートケーキ
価格：540 円（税込）

③ Mill merci（ミルメルシー）

Instagram

TEL 0795-47-5539
定休日 月曜日ほか不定休
営業時間 11:00-19:00

素材にこだわった生クリーム、卵、旬のフルーツを使って一つ一つ丁寧にお作りしています。
12 月～ 5 月は地元のいちごを使ったケーキがオススメです！
多く作れないのでケーキ・焼き菓子の有無、子どものお料理教室などしているためカフェご利用の方はお電話してからお越しください。

所在地 〒673-1341
加東市南山2-3-19

おすすめ商品：
いちごのショートケーキ 価格：600 円（税込）

青年部だより

部長
藤本　卓人
（㈱ＴＨＥ ＯＮＥ）

7/14 青年部経営セミナー

加東市商工会館において「戦略的経営のススメ～5期連続売上高対前年比30％達成した秘訣～」と題して青年部員が講師となり経営セミナーを開催しました。

今回の講師は元加東市商工会青年部長の繁本泰孝氏（株式会社繁本精肉店）。家業を引継いでから理想を求めて事業を経営し、マーケティング戦略やブランディング戦略、これからのチャレンジについて語って頂きました。大変有意義なセミナーとなりました。

11/9 職業体験あきんどキッズ開催！

兵庫県立播磨中央公園において「加東市秋のフェスティバル2025」が開催されました。このイベントにあわせて市内小学5～6年生が夏休みから準備を重ねてきた「あきんどキッズ」。当日はあいにくの雨模様となりましたが、三年目となる今年は51名が参加しました。今回は社高校生活科学科の生徒10名も特別に参加しました。

販売体験では班に分かれて10店舗が出店し、雑貨や焼き鳥、クレープなどを販売しました。ステージでは各店舗の商品ＰＲやダンスの披露も行いました。販売が終わった後、場所を地域交流センターに移して決算書を作成し、閉校式を行いました。

本事業の目的である商売の楽しさややりがいを子供たちに感じ取ってもらえたのではないでしょうか。子供たちだけでなく、青年部員も学ぶことが出来た素晴らしい事業となりました。

11/9 加東市秋のフェスティバル2025協賛『豪華景品があたるくじ引き！』を実施

メイン会場にて加東市秋のフェスティバル2025協賛『豪華景品が当たるくじ引き！』を実施しました。

各青年部員より協賛いただいた商品（スポンサー賞）を始め、商品券・ヨギボー・コーヒーメーカー・お子様向けおもちゃなど豪華景品が当たるくじ引きを実施しました。

くじ引きの「当たり」の声に歓喜!!ご来場いただいた皆様には青年部員一同心より感謝いたします。

女性部だより

部長
黒﨑　和子
（ピロトレ教室和楽美）

9/4 近畿ブロック商工会女性部主張発表大会出場　黒﨑和子氏

シェラトン都ホテル大阪において「近畿ブロック商工会女性部交流会」が開催され、近畿各地から約450名の女性部員が参加しました。

主張発表大会では、兵庫県代表として加東市商工会女性部部長の黒﨑和子氏が出場し、敢闘賞を受賞しました。発表順は最後でしたが、落ち着いた口調で堂々と発表され、会場からも大きな拍手が送られました。

8/25 10/20 第1回・第2回女性部交流会を開催

8月25日、加東市商工会館において、今年度2名の新入部員を迎えたこともあり、女性部の活動内容を紹介し、部員同士の親睦を深めることを目的に交流会を開催しました。ここ数年の間に入部された方々には部の雰囲気や活動を知っていただき、長年参加されている部員には改めて女性部の魅力に触れていただく良い機会となりました。

第1回交流会が好評で「また開催してほしい」との声を受け、10月20日には第2回交流会を開催しました。今回は、部員同士の交流に加え、「インスタグラムの使い方」について気軽に相談ができる場を設けました。ＳＮＳに詳しい部員が相談役を務め、和やかな雰囲気の中で会話が弾み、ＳＮＳ活用のヒントを得られる有意義な時間となりました。

11/9 加東市秋のフェスティバル2025

播磨中央公園において「加東市秋のフェスティバル2025」が開催され、女性部は毎年恒例の「わくわくおひなさま体験」で参加しました。当日はあいにくの雨模様となり、メイン会場からは少し離れた地域交流センターでの実施となりましたが、約60名の方に体験を楽しんでいただきました。

会場では、小さいお子さまから大人の方まで、さらには外国の方にもお雛様・お内裏様の衣装を着ていただき、記念撮影を楽しむ姿が見られました。華やかな衣装に身を包んだ参加者の笑顔があふれ、和やかな雰囲気の中で日本の伝統文化に親しんでいただく良い機会となりました。

新会員紹介（令和7年7月～令和7年10月の新規加入会員）　（順不同）

B-Design

業　種　HP 作成、名刺作成等
代表者　金岡 美咲
所在地　加東市社 787-1
電　話　080-4640-3831

（株）神光 兵庫工場

業　種　金属印刷業
代表者　小河 朋久
所在地　加東市長貞 1827
電　話　0795-47-1983

TAKUTO 鍼灸院

業　種　鍼灸
代表者　林山 拓斗
所在地　加東市社 1710-2
　　社ステージ 102

お手伝い本舗かとう

業　種　家事代行業
代表者　山野 和彦
所在地　加東市山国 2032-192
電　話　080-2052-9479

KAP JAPAN（株）

業　種　人材派遣業
代表者　DINH NGOG TUAN
所在地　加東市社 1685-5
電　話　080-4014-3149

ドッグサロン cherie

業　種　トリミングサロン
所在地　加東市北野 276-13
Instagram アカウント
　　cherie_dogsalon

髙島檜皮屋根工業

業　種　檜皮屋根替
代表者　髙島 優雅
所在地　加東市南山 5-8-11
電　話　080-6127-5611

商工会の詳しい情報は商工会ホームページをご確認ください

会員募集中！

加東市商工会では、一緒に発展していく地元企業を募集しています。
新規創業、販路開拓、事業承継、補助金等様々な施策の普及を支援します。

加入条件

- 事業所が加東市もしくは加東市にお住いの事業者
- 加東市内で6ヶ月以上事業所、店舗、工場等を有する事業者
- 反社会的勢力に該当しない法人、個人事業

※正式加入は商工会理事会承認後の加入となります。

年会費

■個人　8,000円～
■法人15,000円～
※加入時のみ加入金 3,000 円必要

兵庫型奨学金返済支援制度

兵庫県では中小企業の人材確保や若者の県内就職・定着を図るため、「兵庫型奨学金返済支援制度」を設け、若手従業員の奨学金返済を支援している企業とその従業員に対し、補助を実施しています。

令和６年度から制度内容を大幅に拡充し、補助期間を従来の５年間から最大 17 年間に延長することで、若手従業員の経済的負担をさらに軽減するとともに、県内企業の人材確保を後押しします。

まずは下記問い合わせ先までご相談ください。

奨学金返済支援 兵庫県

対象企業	県内に本社がある中小企業で、従業員に対し奨学金返済負担軽減制度を設けている。
対象従業員	対象企業に勤務する 40 歳未満の正社員で、日本学生支援機構の奨学金を返済している。
補助額	年間返済額の 2/3（上限 12 万円）
補助期間	対象者1人につき最大 17 年間（県で定める認定制度取得内容により異なる）

県と企業の負担イメージ

年間返済額 18万円 → 6万円（企業の実質負担額） / 12万円（県負担：企業補助6万円＋従業員補助6万円）

最大補助期間	補助総額	認定取得内容
5年	90万円（うち県60万円）	未取得
10年	180万円（うち県120万円）	■SDGs宣言企業　■フレッシュミモザ企業　■ワーク・ライフ・バランス宣言企業　いずれか2つが該当
17年	306万円（うち県204万円）	■SDGs認証企業　■ミモザ企業　■ワーク・ライフ・バランス認定企業又は表彰企業　いずれか2つが該当

各認定制度の取得企業等はサイト上で公開しています。

■奨学金　■SDGs　■ミモザ　■ワーク・ライフ・バランス

申請受付・問い合わせ先：
一般財団法人兵庫県雇用開発協会
Tel:078-362-6583
詳しくはこちら→https://hyogo-koyokaihatsu.or.jp/pages/139/

安心 安全 国がつくった

小規模企業共済

経営者のための積み立て式退職金制度

小規模企業者のみなさま

POINT 1 将来の生活安定資金に
小規模企業者が、引退後の生活安定資金を積み立てる制度

POINT 2 無理なく積み立て
掛金月額は1,000円から設定でき、途中で掛金の増額・減額が可能

POINT 3 今の経営のサポートにも
掛金は全額所得控除、また共済契約者貸付で事業資金等の借入れも可能

こんな方が加入できます
個人事業主・フリーランス　小規模企業等の経営者・役員　個人事業の共同経営者

Be a Great Small 中小機構

オンラインで加入申込受け付け中

くわしくはウェブサイトをご覧ください。
小規模企業共済　検索

兵庫県 最低賃金

令和7年10月4日から時間額 **1,116円** 64円 UP

最低賃金とは、働くすべての人に賃金の最低額を保障する制度です。

最低賃金に関する特設サイト　最低賃金 特設サイト 検索

最低賃金に関するお問い合わせは兵庫労働局または最寄りの労働基準監督署へ　兵庫労働局 検索

賃金引上げ特設ページ　賃金引上げに向けた支援機構を掲載しています。　賃金引上げ特設ページ 検索

中小企業事業者の皆さんへ

業務改善助成金

令和7年分確定申告書の受付期間及び納期限等

■申告所得税及び復興特別所得税

申告書の受付期間
令和8年2月16日（月）～
令和8年3月16日（月）※
※還付申告の受付は、令和8年2月13日（金）以前でも行えます。

納期限
令和8年3月16日（月）

振替日[振替納税利用の場合]
令和8年4月23日（木）

■個人事業者の消費税及び地方消費税

申告書の受付期間
令和8年1月～令和8年3月31日（火）
[12月31日の属する課税期間分を表示しています]

納期限
令和8年3月31日（火）

振替日[振替納税利用の場合]
令和8年4月30日（木）

＊編集後記＊

明けましておめでとうございます。

昨年は大阪・関西万博が『いのち輝く未来社会のデザイン』をテーマに2025年4月13日から10月13日まで184日間開催され、2500万人超が来場しました。

閉幕から2026年元旦で80日ほど経ちますが、会場で見られた建物や展示がいろいろな場所で活かす取り組みが進んでおり、レガシー（遺産）をいかに後世へ伝えていくか注目されています。万博が残した余韻の大きさを改めて感じております。

そして私たち商工会としても、『キラリ輝く商工会を目指して』をテーマに地域の企業や人々が持つ魅力や努力の姿を発信し、地域の活力につなげていきたいと考えています。皆さまの心に残る誌面づくりを目指し、今年も一歩一歩取り組んでまいります。どうぞ今年もよろしくお願いいたします。

最後に、今号にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。（Y）